



ロシアと日本は、どんな結びつきをもっているの



貿易や漁業での結びつきをもっているが、北方領土問題での対立が続いているんだよ。

1855年に日露和親条約にちろわしんじょうやくが結ばれて、日本とロシアの国交が始まりました。1904～1905年には、満州まんしゅう（中国東北部）・朝鮮半島ちょうせんはんとうの支配を争って、日露戦争が起こりました。ソ連しゃかいしゆぎきょうわこくれんぽう（ソビエト社会主義共和国連邦）成立後の1925年に、国交を回復してからも、満州とモンゴルの国境地帯で、たびたび衝突しょうとつしました。第2次世界大戦の終わりごろ、ソ連が日ソ中立条約を破って、満州・南樺太みなみからふと・千島列島ちしまれつとうを占領せんりょうしました。日ソ間の国交が回復したのは、1956年です。

貿易での結びつき

日口間の貿易額ぼうえきがくは、あまり多くありません。日本はおもに自動車・電気機械などの機械機器を輸出し、アルミニウム・パラジウム・白金（プラチナ）などの金属や、かに・たらなどの魚介類ぎょかいりい、木材、石炭などを輸入しています。

漁業での結びつき

日本とロシアは1977年から、たがいに相手国の200カイリ水域内すいいきないで漁業を行っています。魚をとってよい量などの条件については、日口漁業委員会で決められています。

北方領土問題が、結びつきの強化をさまたげている

北海道の東方の択捉島えとろふとう・国後島くなしりとう・色丹島しこたんとう・歯舞諸島はぼまいしよとうは、1945年にソ連軍に占領され、今はロシアが支配しています。日本政府は、これらの島々は日本の古くからの領土だから返してくれ、と要求しています。しかし、旧ソ連・ロシア側は、いまだに返してくれません。この問題を北方領土問題といい、これが解決していないことが、日口間の結びつきの強化をさまたげているのです。